

小学生サイエンススクール

12月12日(木)の午前の部・午後の部と2回、理数科目に対する興味関心を高めることを目的に「小学生サイエンススクール」が行われました。

いずれも本校生徒が講師となり、小学生には数学・物理・化学・生物の4つ講座の中から、ひとり2講座を受講してもらいました。

柏崎市内の5つの小学校から、5・6年生195名が参加しました。

数学「カードで約数と倍数を学ぼう」



物理「紙ブーメランを作ろう」



化学「火薬を使わない線香花火を作ろう」



生物「葉脈標本を作ろう」



【参加した小学生の感想】

- ・自分たちで考えているときにわからなかったところが他の人の意見や説明でわかりました。難しかったときに高校生が教えてくれたおかげでわかるようになりました。(数学)
- ・ブーメランはなんでまわるか最初はわからなかったけど、実験のあとに解説をしてくれたので、ブーメランの性質がよくわかりました。(物理)

・最初はどやうやってするのか分からなかったけど、わかりやすく教えてくれたので分かるようになりました。班のみんなが協力できてよかったです。教えてくれてありがとうございました。(化学)

・1つ1つの葉の形がちがうから、1人1人オリジナルのしおりができていいなと思いました。本をあまり読まないですが、本を読みたくなるしおりができたので、工夫もすごくいいと思いました。高校生さんもととてもやさしくおしえてくださったので、また機会があったらしてみたいです！(生物)

【引率の小学校の先生の感想】

・5年生が参加しましたが興味を湧くようなちょうどよい内容でした。

・数学や理科は好き嫌い、得手不得手ははっきり分かれるものです。高校生という姿を見る機会としても、その教科を生活に実感しながら触れる機会としても有意義なものでした。教える高校生側としても、教える=分かっているという観点から良い機会だったのではないかと思います。

・小学生が分かるまで一生懸命優しく教えてくれたり、すごいね、いいね、とうれしくなるような声かけをたくさんしてくれたりしてとてもよい態度でした。

・温かさが伝わってきました。教師ではないのに、よくやったと思いますし、見習わせようと思います。手のかかる子もいる中で、ありがとうございました。

【講師を行った柏崎高校生の感想】

・小学生に向けて授業みたいにする体験はやる機会がなく、分かりやすく、興味を持って聞いてもらえるように上手くできるか少し不安があった。

・小学生のような専門用語を知らないような人たちに対してでもわかりやすく説明できるような力をつけることができた。

・しっかりと伝えるように説明をする能力が向上した。

・仲間と協力する能力が上がった。

参加した小学生は、高校生の講師のもと、理数科目の内容に触れながら、楽しく講座に参加していました。はじめはお互い緊張している様子でしたが、しだいに打ち解け和やかな雰囲気の中に行うことができました。